

条幅部自由参考

4月25日正午必着

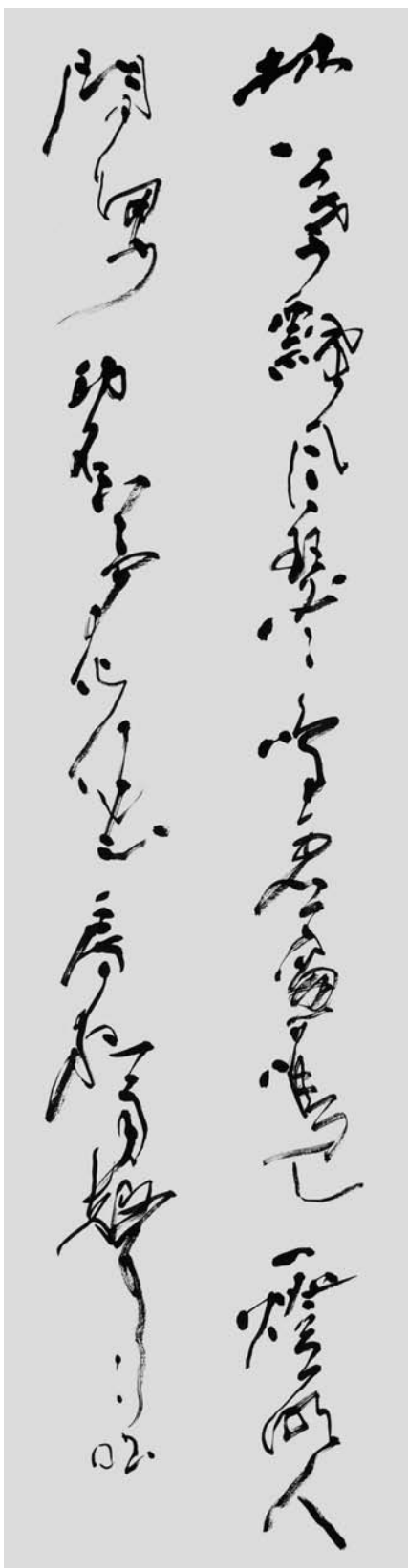
明石春浦先生書



忘^{じょう}情^{せい}勢^{せい}利^り居^い安^{あん}易^い
 寓^い意^い琴^{きん}書^{しよ}得^{とく}真^{しん}味^み (李永安)

地位や利益を心に忘れると安らかな境地に到れる。
 琴や書物に心を寄せると人生の真の味が得られる。

明石幸子書



林^{りん}葉^{よう}飄^{かぜ}風^{かぜ}瑟^{せい}瑟^{せい}鳴^{なう}

虚^{きょ}窗^{そう}唯^{ただ}見^み一^{いつ}燈^{とう}明^{めい}

人^{じん}間^{かん}多^た少^{しょう}巧^{こう}名^な夢^む

化^か作^{して}山^{さん}房^{ぼう}夜^や雨^う聲^{こゑ} (木下犀潭)

4月25日正午必着



三浦士岳先生書

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

仁親爲寶 (礼記)

仁親を宝とする

人をいつくしむことを宝とする。

芳樹無_レ人花自落
春山一路鳥空啼 (李華)

芳樹人無く自ら落ち
春山一路鳥空しく啼く

晚發_二五溪_一 (岑参)

晩に五溪を発す 岑参

客厭_レ巴南地 郷隣劍北天
江村片雨外 野寺夕陽邊
芋葉藏_二山徑_一 蘆花閒_二渚田_一
舟行未_レ可住 乘月且須_レ牽

客は厭う 巴南の地 郷は隣る 劍北の天
江村 片雨の外 野寺 夕陽の辺
芋葉 山徑を蔵し 蘆花 渚田に閑る
舟行 未だ住む可からず 月に乗じて且つ須らく牽くべし

水くみに往來の袖の打ち觸れて散りはじめたる山吹の花 (正岡子規)

半紙部規定課題A

4月25日正午必着

小史
阮君
憐

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

4月25日正午必着

行書



隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る
 やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかかわかしさだが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受けつぐ
 野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる
 太守の甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

送王牧往吉州 李嘉祐

謁史君叔上

細草綠汀洲

王孫耐薄游

年華初冠帶

文彩舊弓裘

野渡花爭發

春塘水亂流

史君憐小阮

應念倚門愁

王牧が吉州に往いて

史君叔に謁するを送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に

王孫 耐く薄遊す

年華 初めて冠帯し

文彩 旧と弓裘し

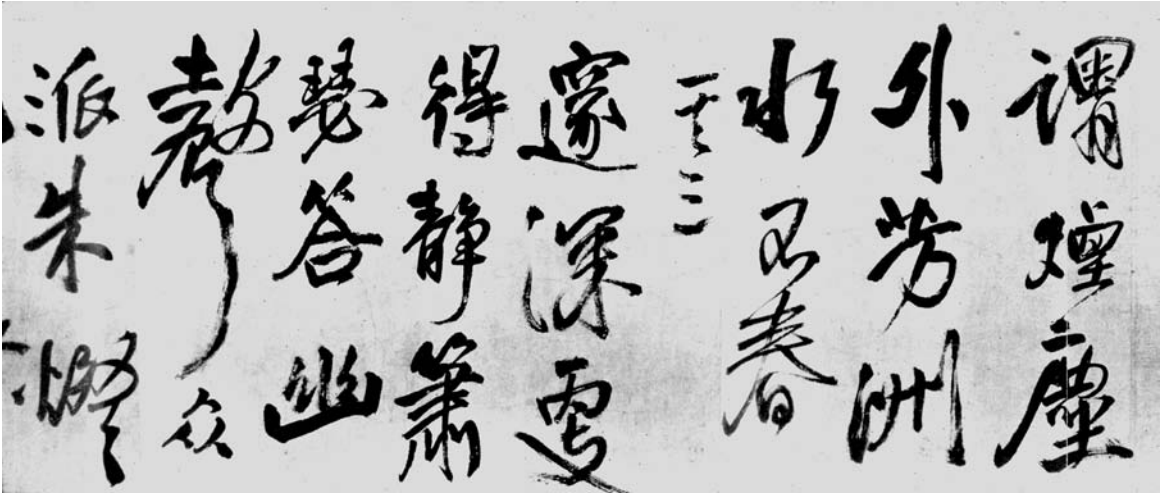
野渡 花争って発き

春塘 水乱れつつ流る

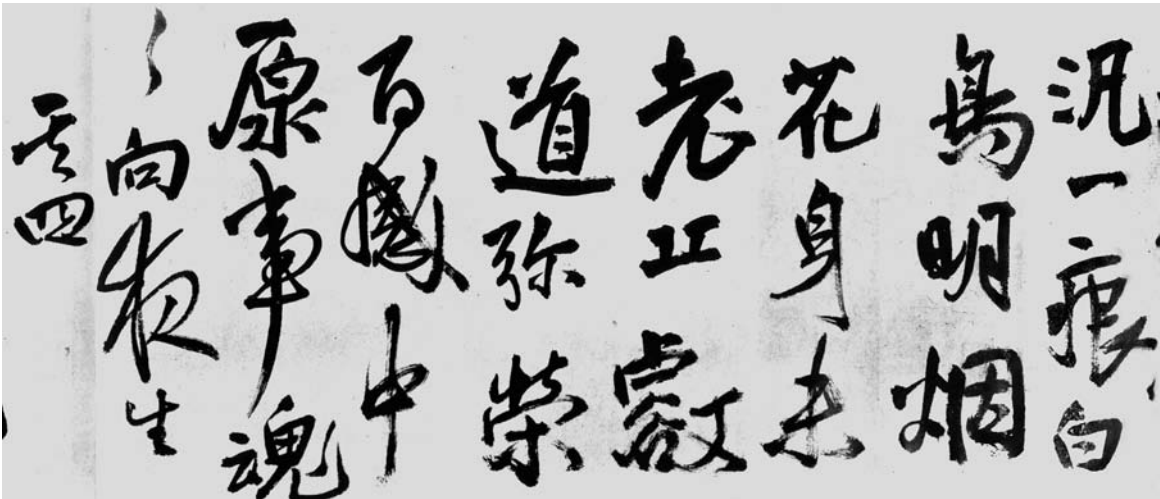
史君 小阮を憐れむも

応に倚門の愁いを念うべし

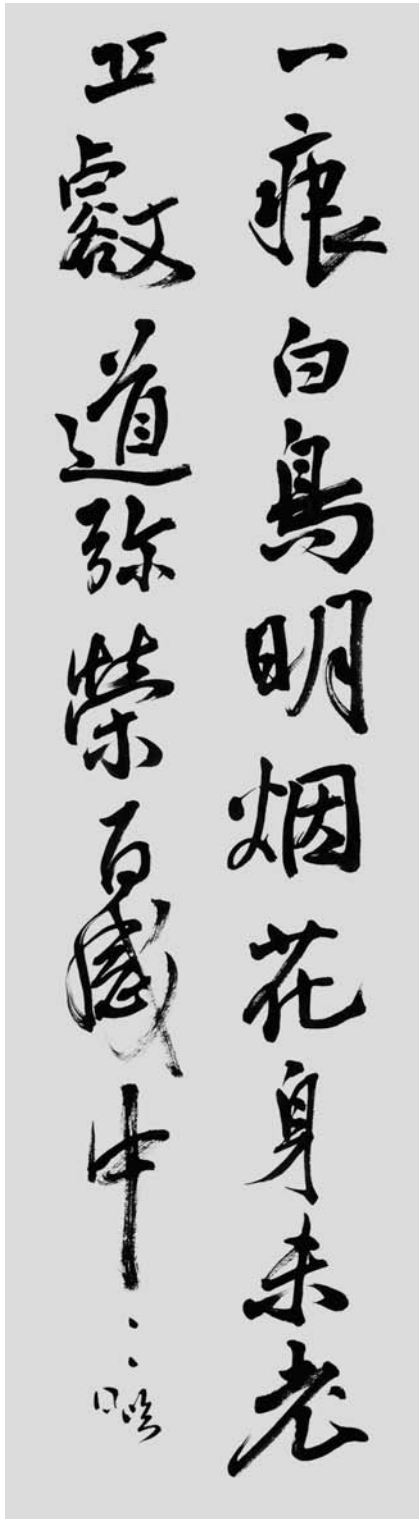
條幅部半紙部臨書課題



謂^ウ煙塵^ニ外^ニ。芳洲^ノ水^ニ不^レ春^{ナラ}。遠深更^ニ得^レ靜^ヲ。蕭瑟^ノ谷^ノ幽^ニ。衆派朱燈。



汎^ハ一痕白鳥^ノ明^ニ烟^ノ花^ノ身^ニ未^レ老^ナ。丘竅^ノ道^ノ弥^ニ榮^ニ。百感^ノ中^ノ原^ノ事^ノ魂^ノ向^テ夜^ニ生^ス。



一痕白鳥明烟花身未老。丘壑道彌榮。百感中(原事)



鳥明烟花身

明末清初 王鐸・行書詩卷

王鐸は明の萬曆二〇年(一五九二)河南省孟津に生まれる。明朝末期の天啓二年(一六二二)に進士となり、明が滅亡した後は清朝に仕え、「明史」編纂の副総裁などをつとめた。順治九年(一六五二)礼部尚書となったが、その年の三月病のために郷里で没した。字は覺斯(または覺之とも書いた)。号は高樵、癡庵、五岳道人など数多い。明朝の遺臣でありながら清朝に降ったことによって節義に欠ける者として白眼視されたが、彼のような唯美の世界に耽溺した人間としては、そうしたことにこだわらず自由な行動をとったのではないかといわれている。

明末から清初にかけては政治的にも社会的または民族的にも混沌とした時代で、書壇においても革新的な傾向におもむきつつある時期であった。そして、そうした中から董其昌や王鐸らを中核として伝統的な書道からはなれ、新しい理念に基づく書の美しさを求めようとする風潮が生まれた。

王鐸は詩文書画をよくしたが、なかでも書は特に名高く、二王を中心に晋唐の古法帖の臨書に終生心血を注ぎながら、彼独自の自由闊達な連綿行草の世界を作りあげていった。この行書詩卷は所々に草書も混じっているが、あくまでも逞しい骨格に、鋒先の先まで力がこもり、少しのよどみもない奔放な運筆は見事というほかはない。(春濤)



きん かく
金 閣

中学一年

雨宮春聲先生書



ち しき
知 識

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



こう
好

てん
転

小学五年

藤井良泰先生書



こう
功

とく
徳

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

4月25日正午必着



細谷春誠先生書

みぎ て
右 手

小学三年



榎戸春龍先生書

う もう
羽 毛

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

し ろ 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

ガ ス 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

4月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

青い波のようにはゆる朝のなみ木道

小学五年

伝説が多いことで知られている原始の森林

小学六年

芽ぐむ草木に春のおとずれを感じる

中学

聴いているだけで心が洗われるような旋律

一般(級位)

かくとだに えやはいぶきの さしも草くさ さしも知らじな 燃ゆる思おもひを (百人一首・藤原実方朝臣)

かゝるだにえやはいぶきのさしも草さしも知らじな燃ゆる思ひを

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

な	わ
た	が
し	ろ
い	の
く	よ
も	う

幼年

ん	は
で	と
き	が
ま	一
し	わ
た	
	と

小学一年

を	つ
一	め
口	た
の	い
ん	お
だ	ち
	や

小学二年

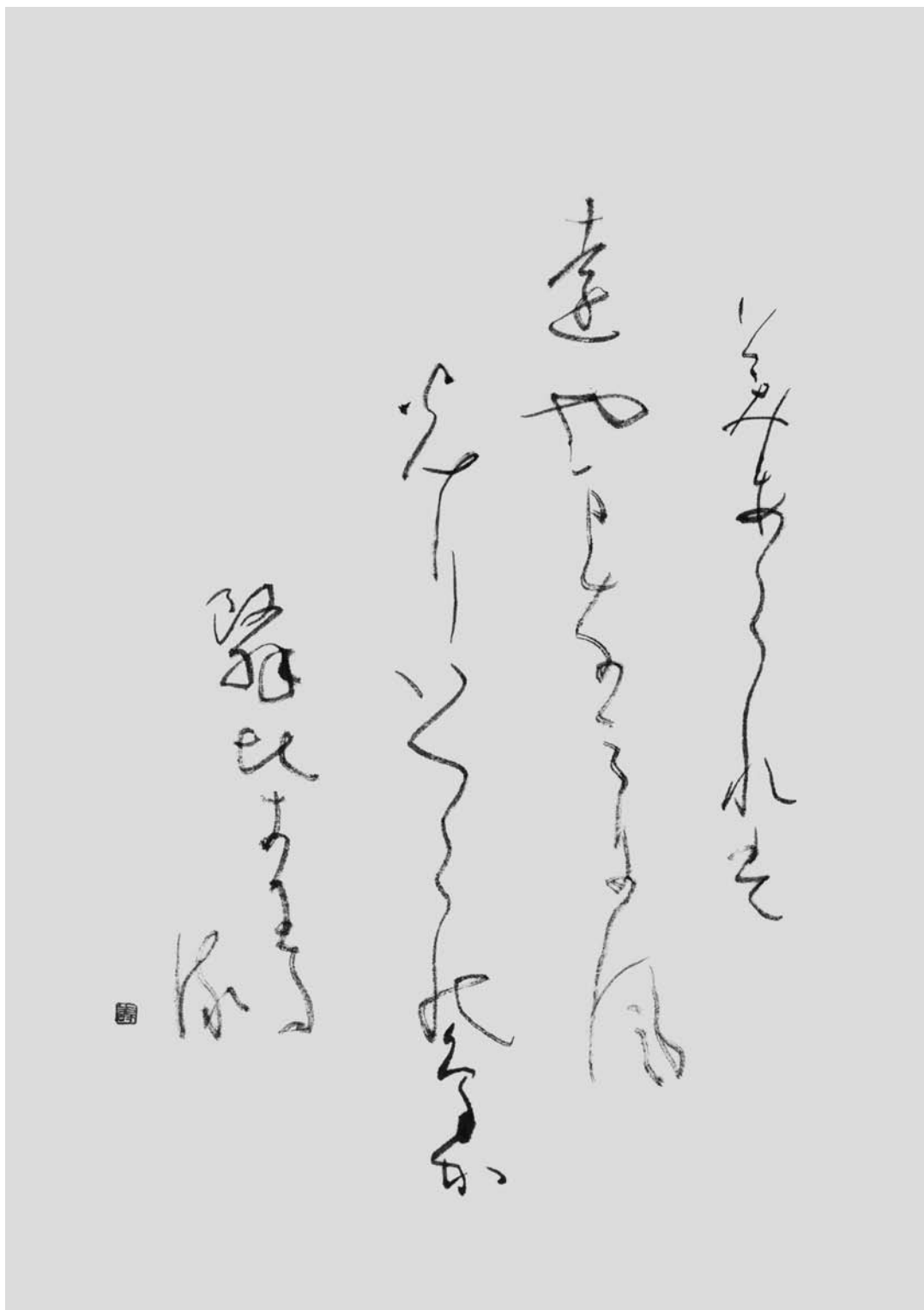
花	川
が	ぎ
さ	し
い	に
て	小
い	さ
る	な

小学三年

れ	さ
た	く
き	ら
れ	の
い	花
な	に
公	囲
園	ま

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

美みあくれば 遠やまなみに 風光りいづくの鳥か 翳^かひきわたる
 盤 万奈三 尔 能 比支王多流
 (前登志夫)